

建築学専攻 アドミッション・ポリシー

① 基本方針

建築学専攻修士課程では、建築計画・意匠学、建築環境・設備工学、建築構造工学、建築材料学、建築生産工学の各分野における積雪寒冷地固有の対策技術も含めた最新の設計手法や建築技術の習得のもとに、自らの得意領域で、今後の社会の発展に寄与できる課題を見出し、高度な課題解決能力で地域社会に貢献するとともに、持続可能で安全・安心な居住環境を創出できる建築設計者・技術者または研究者を養成します。そのために、以下のような資質・能力・意欲を持った学生を受け入れます。

② 求める人材像と学力の3要素

求める人材像	知識 技能	思考力	主体性
		判断力 表現力	多様性 協働性
自ら形成した得意分野を持ち、新たな課題を発見し解決して行こうとする研究意欲のある人	△	◎	○
社会の新たな要求に対応できる知識・能力を身につけたいという強い意欲を持つ社会人	○	△	◎
専門知識と基礎的な研究能力を生かして新しい研究分野を先導する意欲のある人	◎	○	△
専門分野の知識に基づいて自分の考えを的確に表現し、他者と協働できる人	○	△	◎

③ 学力の3要素と求める学習成果

学力の3要素	学力試験	成績証明書	推薦書	業務経歴書	口述試験
知識・技能	→				
思考力・判断力・表現力	→	小論文	面接	成績証明書	研究計画書
主体性・多様性・協働性	→	小論文	面接	推薦書	研究計画書

④ 求める学習成果と入学者選抜方法

入学者選抜方法	学力試験	小論文	面接	成績証明書	推薦書	研究計画書	業務経歴書	口述試験
推薦入試	→	—	◎	◎	○	—	—	—
一般入試	→	◎	○	○	—	—	—	—
社会人入試	→	—	◎	—	—	○	△	◎

⑤ 入学前に習得すべき内容・水準

- ・建築学及びその基礎となる物理学、数学に関する学部レベルの専門基礎知識
- ・学術論文を読み解くために必要な英語読解力
- ・建築計画・意匠学、建築環境・設備工学、建築構造工学、建築材料学、建築生産工学のいずれかの分野における学部レベルの専門知識
- ・データ処理、論文作成に必要なコンピュータリテラシー

※ 記号(◎, ○, △)は重要度の順序を表しています。